



4

道徳授業地区公開講座

4・5・6年生の

合同ユニセフ学習会

報告者 福生市立福生第七小学校 校長 田中 佳夫先生

1. ポイント

本校は、学校の教育目標に、

自ら学び、共に学び合い、広い視野と創造の精神に富み、郷土を愛し、自他の生命を尊重する児童の育成を図る。

- ・よく考え、進んで学ぶ子
- ・明るく、思いやりのある子
- ・体をきたえ、がんばりぬく子



福生第七小学校校舎

を掲げ、めざす学校像を、

①生きる子どもたちに「自立」「共生」の力をつける学校

②「一歩前へ」歩み続ける笑顔あふれる学校

として、毎日の授業はもちろん、様々な活動、行事を充実させています。



学校公開表示

9月18日（土）には、子どもたちの心の教育を一層進めるために、東京都教育委員会、福生市教育委員会との共催により道徳授業地区公開講座を開催しました。その内容は、3校時に全学年・全学級が道徳授業を公開し、4校時には日本ユニセフ協会の方を講師に招き、4・5・6年生と保護者・地域の方が参加してユニセフ合同学習会を実施しました。

2. 実 践

（1）道徳の授業公開（全学年・全学級12クラス）

本校は、全校で環境学習を進めています。今回の道徳授業では、題材に『環境』を取り上げ、自然や動物愛護、環境保全への考えを深め、道徳的実践力を育成していくために行いました。

道徳授業の学年と主題名

学年・組	主 題	学年・組	主 題
1年1・2組	わがままに負けないぞ 3-(2) 自然愛、動植物愛護	2年1・2組	みんなのものだよ 4-(1) 公徳心、規則の尊重
3年1・2組	自然の不思議さ、すばらしさ 3-(2) 自然愛、動植物愛護	4年1・2組	ウミガメの浜を守る 3-(2) 自然愛、動植物愛護
5年1・2組	自然とともに生きる 3-(2) 自然愛、環境保全	6年1・2組	自然環境を守る 3-(2) 自然愛、環境保全



2学年「みんなのものだよ」



4学年「ウミガメの浜を守る」



6学年「自然環境を守る」

(2) ユニセフ学習会

①活動のめあて

日本ユニセフ協会の方の話を聞き、世界の厳しい現状を知り、ユニセフの役割や私たちにできることを考える。

②学習活動

ア) ビデオ「この世界に生きる子どもたち」を視聴する。

イ) 日本ユニセフ協会の方の話を聞く。

ウ) ネパールの水がめを運び、その重さや運ぶことの大変さを実感し、労働の苦労や学校に通えない現状を知る。

エ) マラリア予防の蚊帳をみて、マラリアを防ぐための努力、工夫について、ユニセフがしていることを学ぶ。

オ) 学習の感想を話す。



ビデオを見る

3、児童の感想

○「この世界に生きる子どもたち」のビデオを見ました。私は、ごく普通に過ごしている毎日が幸せだと思いました。水を飲める幸せ、勉強できる幸せ、学校に行ける幸せ、友だちと遊べる幸せ、全部が幸せです。今、世界では学校にも行けない小学生がいたり、無理やり兵隊にさせられる子どもがいます。ユニセフに募金をして、みんな幸せになってほしいと思います。

○私はネパールの水がめをはじめて持ちました。実際に持ってみるとすごく重く、手がいたかったです。これを持っている子どもたちは、とても大変だと思いました。でも、生きるためにやっているんだなと思いました。わたしは、水を持ち運びしないで、水道のじゃ口から出るようにしてあげたいです。

4、まとめ

4・5・6年生、そして地域や保護者の方を招いての合同学習では、心に残るお話、ビデオ、体験の機会をいただき、子どもたち、一人ひとりが「自分もがんばろう」という気持ちをもつことができました。また、自分にできることで、人の役に立とうとの気持ちももてました。体験したネパールの水汲み用の水がめとマラリア予防の蚊帳は、全クラスで活用しました。また、ビデオも3年生以下の学年が教室で見ました。学習の様子を写真にして廊下に掲示し、来校された方や保護者会などの折にいただきました。今回の学習を生かして、学校・保護者・地域が一体となって子どもたちの心の教育、健全育成を更に進めていきたいと思っています。